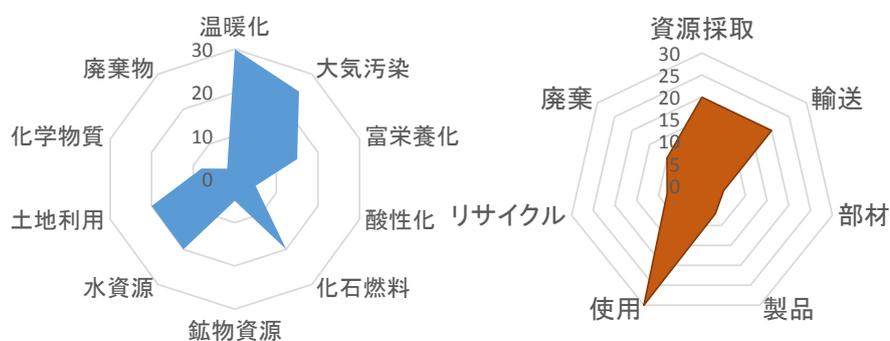


エコリーフ、カーボンフットプリントデータご提供のお願い

国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門
社会と LCA 研究グループ 田原聖隆
一般社団法人産業環境管理協会 製品環境情報事業センター
LCA 事業室 神崎昌之

昨今環境問題への関心が高まっている中、環境教育や製品の環境負荷量表示を実施することによって、さらに多くの生活者の環境意識を喚起し高めるために働きかけていく方策を検討しています。その一環で上記を実施するために、皆様が環境ラベル(エコリーフ、カーボンフットプリント)の作成時に算出されたフォアグラウンドデータを活用させていただければと思っております。データの活用の用途はホットスポット分析です。また産総研では、環境教育への活用も計画しており、お借りするデータのこちらへの適用もご了解いただければ幸いです。

ホットスポット分析への活用としては、いただいたデータから算出した製品の製造段階、使用段階、廃棄段階の各段階の負荷について 17 影響領域で環境影響評価し、製品のライフサイクルの中でホットスポットとなるステージ及び影響領域を提示することによって、消費者や企業等のステイクホルダーに製品選択のひとつの指標として利用してもらいたいと考えています。これは科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム「製品ライフサイクルに立脚した環境影響評価基盤の構築と社会実装によるグリーン購入の推進」として科学技術振興機構 (JST) の支援を受けています (H26 ~29 年度)。ここでは下記のような分析を行います。これらの分析結果は例えば今後の PCR 策定時の基礎データとして活用することが考えられます。



そこで、ご賛同頂ける皆様にフォアグラウンドデータのご提供をお願い致したいと思えます。提供いただけるデータは、エコリーフまたはカーボンフットプリントの検証申請書一式（内訳データシート等）としてご提供ください。（ただし、独自の表等でご提供いただいてもかまいません。）

頂いたデータをもとに算定した分析結果は研究成果として公開する予定です。公開レベルは、御社の希望に沿わせて頂きたいと思えます。公開レベルは以下の 3 つを予定しておりますが、下記以外の希望もできる限り対応したいと思えます。

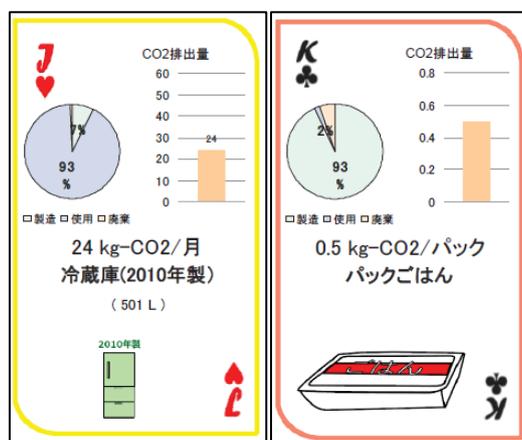
- (1)各入出力項目及びその入出力数量の公開
- (2)原材料調達、生産段階、流通段階、使用段階、廃棄段階等の各段階に分けての公開
- (3)ライフサイクル全体の合算値での公開

ここで(2)、(3)の場合、ご希望に従い数値は公開しないことも可能です。尚、エコリーフまたはカーボンフットプリントでの公開情報に含まれる御社名、型式等の情報を今回の分析結果に附して公開させていただく予定です。

また、データをご提供いただいた場合には、以下のようなご要望にお答えすることができますので、御社の環境問題解決を支援する一助になるかと思えます。

- (1) 対象製品に由来する「各種資源の消費量」や「各種環境負荷物質の環境中への排出量」等の算出。
- (2) ご希望の年の電力原単位を用いた対象製品に由来する環境負荷量の算出。

環境教育への活用としては、いただいたデータから算出した製品の製造段階、使用段階、廃棄段階の各段階の CO2 排出量構成比を円グラフで表示したり、ライフサイクル全体からの CO2 排出量を棒グラフで表示することによって、環境負荷量の全貌を視覚に訴える教材作りを計画しています。下図のようなカードを作成したいと考えています。



記

募集期間： 2016年5月10日～6月末日

送付頂きたいもの： 検証申請書一式（検証済のもの）

データのご提出やご質問先：

国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ
エコラベル担当(alca-ecolabel-ml@aist.go.jp)

- * 頂いたデータは厳重に管理し、目的外使用することはありませんし他機関へデータを提供することもしません。
- * 頂いたデータの分析は、H28、H29年度事業の中で実施します。